

編集後記

トミヨは、手取川、庄川などの扇状地の扇端部にある湧水地に生息しています。また、手取川では通称「はりんこ」と呼ばれています。トミヨは、巣をつくる魚として知られ、雄が巣をつくり雌に卵を産ませて卵がふ化し稚魚が自力で泳ぎ出すまで巣と卵を守ります。雄は稚魚が泳ぎ出すと死に、雌も数回産卵した後に死んでゆきます。多くは一年魚で、誠にはかない命です。

さて、表紙で紹介している「猪之谷ダム」の周辺の湧水池においても地域住民の努力でトミヨが生息するまで自然環境が改善されています。

トミヨが自然環境のバロメータとなって、昔のように田んぼや流れの緩やかな小川などに棲むことができるように水路工事等について、配慮することをお願いしたいと感じています。



学名：トミヨ（トゲウオ科・トゲウオ目・トミヨ属）

さわやか西北陸 第40号 平成22年9月発行

事務所の案内図



JR小松駅より徒歩約20分



編集・発行／北陸農政局 西北陸土地改良調査管理事務所
〒923-0801 石川県小松市園町ホ85-1
TEL (0761) 21-9911 FAX (0761) 21-9985
E-mail: hideaki_ishimura@hokuriku.maff.go.jp
HP: <http://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/nishihoku/index.html>

当事務所では、地域の皆様とのコミュニケーションをより一層深めていきたいと考えております。地域の情報や本誌へのご意見・ご感想などありましたら当事務所までお寄せ頂ければ幸いです。